



学校だより

せんだんのかぜ



学校教育目標「仲間と共に 学び、考え、行動する子 ～ふるさとの今と未来をつなぐ～」

浜松市立二俣小学校(内山佳乃) 令和8年6月12日

御声援をありがとうございました 5/23(土)運動会

天候と運動場の状態が心配されましたが、予定どおり行うことができたことに安堵しました。

子供たち一人一人の頑張りが輝いていました。御家族の皆様や地域の方々に、その姿を見ていただけたことを、とてもうれしく思います。高学年の子供たちは、委員会の仕事や係の仕事を責任をもってやり遂げたことがとても素晴らしいと思いました。下級生も、力いっぱい競技に取り組む姿がすてきでした。皆さんのおかげで、心に残る運動会になりました。本当にありがとうございました。



「いのちについて考える日」に寄せて

浜松市では6/12を「いのちについて考える日」としています。

子供たちの中には、毎日の生活の中で「つらいな」「しんどいな」と感じている子がいるかもしれません。本校では、定期的に生活アンケートを行ったり、担任と一人一人が話す時間をつくったりして、子供たちの気持ちを受け止められるようにしていきます。

困ったとき、話したいとき、誰かに話を聞いてもらったり相談したりすると心が軽くなるものです。家族、友達、担任、養護教諭、その他の教員、外部の相談機関…誰でも構いません。《独りで我慢する》ことが、いちばん心を苦しめます。子供たちには、「つらいときは、必ず誰かに話してほしい」と伝えました。話すことは、自分のいのちを大切にする行動のひとつだと考えるからです。

そして、私たちが安全に、安心して過ごすために、もう一つ大切なことがあります。それは《きまりや礼儀、約束を大切にする》ことです。

「このくらいならいいや」「見ている人はいないし」「まだ子供だから許されるだろう」そんな気持ちが積み重なると、思わぬ事故やトラブルにつながります。

最近、こんな出来事がありました。友達が嫌がることをしてしまい、相手を怒らせてしまった人がいました。その人は、自分の行動を振り返り、「自分が悪かった」と認めて、勇気を出して謝りました。そして、謝られた友達は、その気持ちを受け止めて許しました。

私は、謝れた人は勇気のある人だと思いました。そして、許した人は心の広い、器の大きい人だと思いました。「謝ること」も「許すこと」も、どちらも相手のいのち、そして自分のいのちを大切にする行動です。

いのちを大切にするとは、単に「事故に気をつける」だけではありません。自分の心を大切にすること。相手の心を大切にすること。小さな約束やきまりを守ること。困ったときに誰かに話すこと。その一つ一つが、いのちを守る行動です。

6月は、自分のいのち、友達のいのちをどう大切にしていくか、改めて考える月にしたいと思います。まずは、できることを一つでいいので実行してみようと、子供たちに呼び掛けていきます。



校庭の草刈りボランティアや学習ボランティアに参加して下さった皆様、お忙しい中、本当にありがとうございました。引き続き、学校ではボランティアをお願いしたいと思っています。「やってもいいよ!」というお気持ちの方、学校へ一報ください。皆様のお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

二俣小 053-925-4178

担当 平野(教頭)・内山(校長)